

若松かねしげ四季報(夏季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2017年4月1日～7月14日

梅雨前線の停滞により、北九州を中心に記録的な大雨が降り、甚大な被害が発生しました。北海道でも猛暑日が続き、厳しい夏の到来です。

その渦中、7月2日投開票の都議選が行われ、都民ファーストの会の圧勝、自民党の歴史的敗北となりました。一方で、全国一丸となって、厳しい選挙戦を乗り越え、公明党は1議席増の23名全員当選、7回連続完勝となり、感謝の思いでいっぱいです。このような結果に至る政治情勢も含め、活動報告をさせていただきます。

1. 政局

(1) 通常国会終盤戦とテロ等準備罪の成立

6月14日、テロ等準備罪を盛り込んだ組織的犯罪処罰法改正案の採決が参議院本会議で行われました。午前10時に開会し、金田法務大臣の問責決議（否決）、中間報告形式による秋野公造法務委員長（公明）の委員会経過報告、参議院議長の間責決議（否決）等を行い、一回の本会議で過去最高となる13回の記名投票を実施し、翌朝8時に同法案は成立しました。

前日の法務委員会で、審議を十分にすべきと主張した民進・共産は、維新が質問する前に動議を提出したため委員会は審議中断となり、法案採決の徹底拒否に出ました。このため、自民党提案による「中間報告」を取らざるを得ず、また、この自己矛盾の民進・共産の態度に対して、維新の理事は本会議の討論の場で、「審議しろと言い、審議を拒否することは二枚舌だ」と叫ぶなど、同じ野党から非難されました。

しかし、マスコミは与党の強行採決と報じたため、安倍総理が丁寧な説明を行う場として設定された6月16日(実質国会最終日)、参議院で予算委員会が開催されました。しかし、テロ等準備罪に関する与党の質問は2～3割に満たず、野党は加計問題等の批判的質問に終始しました。内閣改造前の予算委員会開催も浮上してきました。

(2) 都議選後の政権運営

その日の翌日から全面的に都議選体制となり、ほとんどの国会議員は選挙戦の現場にはせ参じました。しかし、与党の国会終盤の対応の影響で安倍政権支持率が急落し、その後の豊田真由子衆議院議員の暴言や稲田朋美防衛大臣の発言により、自民党に対する更なる追い打ちとなり、23議席（改選前57）の歴史的敗北を期し、都民ファーストは49議席獲得（選挙後入党入れ56議席）と大躍進しました。

公明党は、4年前より95,537票多い734,697票獲得し、1議席増の23議席獲得と7回連続して完勝させて頂き、東京改革を進める都民ファーストと公明党の議席は79議席（過半数64議席）となりました。終盤戦の公明党への全国応援は日に日に強



まり、最後に一步抜け出し、最後の議席を自民、共産が争う構造となり、多くの自民候補が惜敗するという結果となりました。小池知事は投票翌日、都政に専念するため都民ファーストの会代表を退任することになり、今後、議会改革をリードしてきた公明党の役割はさらに大きくなります。

(3) 内閣改造と平成30年度予算編成と秋の臨時国会

8月3日の内閣改造が伝えられています。今国会で非難が集中した金田法務大臣、稲田防衛大臣の交代は既成事実となり、党3役も含めた自民党内人事と、新閣僚による平成30年度予算概算要求が決まる8月末までの動向が焦点となります。

野党の予算委員会開催の要求が引き続き強く、7月24日の週に衆参予算委員会開催の動きとなり、その後の9月以降は、働き方改革等の重要法案が審議される秋の臨時国会に焦点が移ります。

2. 参議院災害対策特別委員長・国会活動・党務

(1) 委員会活動

〔参議院災害対策特別委員長関連業務〕

国会役員という言葉があり、議長、委員長がその任にあたります。天皇陛下主催によるお茶会が4月24日皇居で行われ、国会役員である私は初めての経験をさせていただきました。

災害対策委員長在任中に、少しでも災害対策の役に立とうと、昨年10月取得した防災士の与党（公明7名、自民6名）の仲間を結集し、防災士議員懇話会を発足し、私は会長に就任しました。4月26日、5月17日、6月7日と3回開催し、防災士協会等から大変貴重な意見を伺うことができ、今後の政策立案に反映いたします。

この間、阿武隈山系で雷由来の火災が起き、8日間経ても鎮火せず、状況把握のため、5月6日、浪江町の災害対策本部に駆けつけ、山林火災の消火の難しさを知りました。

今回の北九州を中心とする大雨災害では、詳細に状況把握するため、7月13日には理事懇談会を開催して防災関係省庁から説明を受け、被害の状況把握と委員会としての今後の対策を打ち合わせました。7月15日は、1時間に50ミリ以上の豪雨が2回あった長崎県壱岐市の土砂災害現場を視察しました。2千か所以上になりそうで、その被害が北部に集中し、局地的豪雨の怖さを実感しました。

〔予算委員会〕

予算成立後の4月以降は、通常、政局がらみ以外予算委員会は開催されませんが、今村復興大臣の辞任を受け、任命責任を問う等、安倍内閣の基本姿勢に関する集中審議が、5月8日に衆議院、翌9日に参議院の予算委員会で行われました。当然、野党からは森友学園、加計問題に集中した質問が続きましたが、会期末のテロ等準備罪の採決をめぐって野党の不満を解消するため、急きょ、異例の国会最終日の6月16日、参院で予算委員会が開催されました。

私は、前日の午後、質問バッターとして登壇を命じられました。この日の朝まで本会議があり、24時間ほとんど不眠状態でしたが、テロ等準備罪の必要性、加計学園に



対する総理の忖度の有無について、直接総理に尋ねました。併せて、福島復興の課題、北日本新エネ社会構想に対する総理の見解、JR北海道経営課題に対する国交省の認識等を尋ね、貴重な質問の機会を頂きました（議事録同封）。

〔環境委員会〕

環境委員会は9本の法案審査を行い、原子力規制委員会のガバナンス強化法案、土壤汚染対策法の改正等、この3か月で7回の質問を行いました。今通常国会で9本の法案を成立しましたが、環境委員会では一国会で過去最高の成立数とのことであり、無事、全法案成立できたことに胸をなでおろしています。

〔農林水産委員会〕

4月25日、農業競争力強化支援法案の法案審査があり、初めて農水委員会で質問に立ちました。本来14日の本会議で代表質問する予定でしたが、与野党の国会運営の対立で急きょ変更となり、この日の委員会質問となりました。公明党が推進してきた収入保険のメリット、北海道の農業生産性の向上策等を取り上げました。（議事録同封）

この委員会審議と合わせて、5月22日、党農水部会によるJAふくしま未来と果樹農家の現地調査を行い、収入保険の加入条件である青色申告に対する事務負担増への懸念等、貴重な意見を頂きました。

（2） 東北方面幹事長党務

〔福島県本部代表業務〕

- ① 毎年恒例の福島県本部主催政経セミナーが3月の郡山市に続き、4月1日会津若松市、7日いわき市、8日福島市と4か所で開催させて頂きました。公明党による期待の高まりからか、昨年より多い3千人の方々に参加して頂きました。
- ② 4月1日から3日にかけて、会津地方の1期生女性議員（喜多方市議、南会津町議）と地元課題の案件を視察しました。久しぶりに2メートルの残雪がある桧枝岐村に行きました。西会津町にも伺い、空き家が多い町の現状や課題について、町長から伺いました。
- ③ 3月12日山口代表来県の際、原子力被災地12市町村から頂いた要望の回答書作成をめぐり、4月7日と10日に国会内で復興加速化福島会議を行い、全68項目141頁にわたる回答集を作成し、4月28日県庁に届けたほか、12市町村の首長にお返ししました。
- ④ 4月22日、郡山市で、厚労省老健局振興課長を迎え、「地域包括ケアの深化と地域共生の実現に向けて」と題した県本部主催の研究会を開催し、参加した議員、行政、介護事業者に有益な会合となりました。前日の4月21日、和光市役所を尋ね、同市の地域包括ケアシステム「S-PDCA」を視察し、要介護者の介護度の改善が顕著になっているモデルに驚嘆しました。
- ⑤ 6月3日、公明党・福島新エネ社会構想県民の会合同のZEH（ゼロエネルギーハウス）とZEB（ゼロエネルギービル）を学ぶ研修会を開催し、エネルギー庁の部長を含む2人のプレゼンテーションは、新エネさきがけの地、福島県にふさわしいテーマでした。



〔青森県本部〕

4月9日、毎年恒例の青森県本部政経懇話会が、井上幹事長出席の下、青森市で開催され、真山ゆういち衆議院議員と共に出席させて頂きました。

5月20日は青森県本部議員総会が開催され、この日は幹事会から参加し、青森県本部の課題、取組み等をじっくり伺うことができました。

〔宮城県本部〕

4月15日、2年前の豪雨災害時に大和町の現場視察した吉田川改修の要望が、庄子県議等の尽力で今年度予算に対策費を計上でき、早い段階で地元住民による吉田川水害対策協議会発足式に出席しました。翌日は、東松島市議の新人候補者の応援演説を行い、直ちに埼玉県桶川市で開催された「和華流踊りと歌祭り」であいさつし、夜は公明党小樽総支部の春の集いに駆け付けました。

4月21日、仙台市太白区選出の横山のぼる県政報告会に出席しました。国交省出身のため、1期生にもかかわらず数多くの防災・減災インフラ整備の実績を上げていました。

6月1日は登米支部会、2日は青葉区党員会、5月31日いわき総支部「吉野まさよし復興大臣講演会」に駆け付け、3日連続、東京と東北の日帰り会合を乗り切りました。

(3) 北海道政策実現

横山参議院議員が委員長を務める「北海道開発振興委員会」では、JR北海道の赤字路線問題について7回の会議を行い、私は6月16日の予算委員会で、JR北海道の事業範囲の見直しの観点から質問しました。国交省の従来の答弁は、JR北海道と道行政の話し合いを促す程度でしたが、この日の答弁は、鉄道局も議論に参画していく旨の前向き答弁を引き出すことができました。

福島新エネ社会構想で得たノウハウを、特に風力発電に適した北海道を含む北日本新エネ社会構想の関心を政府に寄せてもらうため、総理に直接質問しました。

縄文文化世界遺産登録についても、自公議連幹事長として、4月26日の文科大臣、文化庁長官への陳情等、積極的に関与しています。

国会外活動・都議選

(1) 憲法記念日街頭演説、九州北部豪雨被害者支援募金活動

5月3日の憲法記念日、恒例の街頭演説を郡山市3か所で行いました。

7月10日、郡山駅前、九州北部豪雨被害者募金活動を真山ゆういち衆議院議員と行いました。

(2) 東京都議選

4月8日、全国代表者協議会が党本部で行われ、都議選の本格的スタートを切りました。都民ファーストの結成により、各選挙区のトップ当選者が都民ファーストが占め、現職が落選すると推測されました。更に私が担当する北区では、定数が4から3に減少したため、2重のハードルとなりました。このため、従来の「大松あきら」票を5千票



上乘せする必要があり、私の人脈を使ってさらに支援の輪を拡大するため、徹底して北区に入りました。

特に、公認会計士、税理士、行政書士、福島県人会等、ありとあらゆる人脈の深堀を行い、4人の秘書も含め事務所一丸となり運動を展開し、6月16日の国会閉会日以降は、投票日前日まで毎日北区入りし、約5百件の有権者に訴えることができました。

行く先々、東北、北海道はもとより、埼玉等、全国各地から東京交流している党员支持者にお会いすることができ、お互いに激励をしながら、最後の1分まで拡大の戦いを貫くことができました。

(3) 自民党関係行事

6月25日、福島1区の亀岡よしたみ衆議院議員後援会が宮城県伊達市で開催され、前回の総選挙で民主候補に7千票負けたところでもあり、真山ゆういち衆議院議員共々の勝利を勝ち取るべき、全力でガンバローと訴えました。

(4) 後援会および地元活動

〔仙若会〕

4月6日、仙台市で後援会懇談会を行い、都議選応援を強くお願いしました。

〔税理士による若松謙維後援会発足〕

都議選開票翌日の7月3日、郡山市内で、私が所属する郡山税理士会を中心とする後援会を発足して頂き、31名の税理士が出席して頂きました。

〔福島復興行事〕

4月30日、川内村復興マラソン大会の5kmコースに出場し、風邪をひき最悪のコンディションだったため、昨年より2分遅い29分3秒で完走できました。大勢の団体が復興応援の声援をして頂き、普通の大会より盛り上がりの様相は予想以上でした。

5月21日は広野町パークゴルフ大会に出場しました。この日は晴天で、3歳の子供がアヒルを追いかける微笑ましい光景が7年ぶりに見え、大変感慨深く感じました。

相馬野馬追いに「騎馬隊」として出場を申し込み、初会合が6月11日、福島市で開催されました。7月28日の本番に向け、2回乗馬練習を行いました。一生に一度のチャンスであり、ぜひ、晴れ姿を見に来てください。

〔埼玉県中小企業同友会〕

5月23日、福島県総会が郡山市内で開催され、国会議員会員は唯一、私だけでした。6月12日は、郡山支部内で「まどかの会」という女性経営者の会に出席し、新たな人脈を作ることができました。

〔北海道〕

通常国会があったため、しばらく北海道訪問ができませんでしたが、5月27日は札幌市内の定山溪で福島県人会北海道連合会総会に出席しました、7月7日は東京都北区が発祥の地である製紙会社の主力工場がある苫小牧市の王子、日本両製紙工場等で都議選勝利のあいさつをさせていただき、その日の夜は室蘭市で全道商工会議所総会にも出席し、最終便で都内に戻りました。

〔中大白門会〕

5月9日の福島市支部では、エアレース2連勝の室屋義秀さんとお会いでき、5月13日は母校（お茶の水）で学会会総会、5月25日は国会白門会、6月10日は卒業同期の53年会総会（宇都宮）、7月2日は郡山白門会に出席しました。

〔公認会計士〕

6月15日は東京会、6月20日は東北定期総会に出席しました。

〔税理士会〕

6月20日は東北定期総会、7月3日は郡山支部会総会に出席しました。

〔行政書士会〕

5月26日は石川町八幡屋で福島県定期総会が開催され、会長選終了後から出席し、新会長にご挨拶できました。6月22日は日本行政書士会定期総会が都内であり、東北、北海道の行政書士の役員の皆様に挨拶できました。

5. 若松事務所の現況報告

①国会事務所（恩田政策秘書、菊地秘書）

恩田さんと菊地さんがサポートしています。都議選では、地元力を発揮し、大活躍してくれました。

*東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1207号室
Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②福島事務所（佐藤公設第1秘書）

福島、宮城の人脈を活用し、都議選紹介者を集め、自ら、積極的に訪問活動を進めました。

*福島県福島市浜田町4-16富士ビル1階
Tel:024-572-5567 Fax:024-572-5587

③盛岡事務所（太田公設第2秘書）

岩手の人脈を活用し、都議選紹介者を集め、自ら、積極的に訪問活動を進めました。

*事務所：岩手県盛岡市茶畑2-10-8ササエイビル2階（公明党岩手県本部内）
Tel:019-656-7761 Fax:019-656-7762

④上尾事務所（資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16
Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

以上